

令和元年度
第2回 北九州市地域バイオマス安定供給検討会
会議内容（結果）

【会議概要】

日時：2020年2月12日 13:00～15:00

出席者：官民16団体26名（うち市役所関係2部局6名）

【議題次第】

- 1 目指す姿
- 2 発電利用に供する木質バイオマスの証明ガイドラインについて（講演）
- 3 本年度の調査報告
 - （1）熱需要把握調査
 - （2）竹チップ供給拡大調査
 - （3）先進事例調査（豊後大野市）
- 4 参加者からのお知らせ
- 5 意見交換
 - （1）FIT 認証について
 - （2）森林環境税について

【会議結果】

- 1 本年度の活動報告
 - ・市有林からの木材搬出について、「北九州市森林・林業マスタープラン」にもとづき、面積の大規模化や機械化の可能な箇所の適地選定が進んでいることが報告された。
 - ・小規模熱供給事業の把握調査では、バイオマスボイラ導入に関心のある施設が数施設あることが報告された。
 - ・竹チップ供給拡大調査では、人材不足やコスト面で、竹の伐採を行うことが困難な造園業者が多く、採算性の確保や補助制度の必要性があることが報告された。
- 2 今後の展開についての検討結果
 - ・次年度以降の推進体制の検討がなされ、令和2年度以降については、引き続き当検討会において、情報交換や検討を実施し、バイオマスの安定供給体制の強化をはかっていくことが確認された。
 - ・北九州市内に立地するバイオマス発電所や、隣地域に立地予定のバイオマス発電所へのバイオマス燃料の供給を見据え、事業者認定団体として「北九州市地域木質バイオマス利用促進協議会」の設置を検討していくことが関係者間で確認された。

3 主な意見

- ・再生可能エネルギーの導入にあたっては、卒 FIT 後（再生可能エネルギーの固定価格買取制度期間終了後）を見据えて検討を行っていくことが重要である。
- ・北九州市で今後、地域における持続可能な素材生産体制を構築するためには、安定した事業量の確保などが重要であり、官民が連携した森林整備の取組等を進めていきたい。
- ・現在、管轄内の森林組合に対して搬出間伐や主伐の林産事業が実施・促進されるよう提案型集約化施業の研修を行っている。今後も引き続き、森林所有者に対する森林施業提案書の作成、森林経営計画書作成、造林補助事業手続き等について、適切に実施されるよう研修を行っていきたい。

以上

令和元年度 第2回 北九州市地域バイオマス安定供給検討会
参加者名簿

No.	団体・企業名
1	福岡県 八幡農林事務所 林業振興課
2	福岡県 行橋農林事務所 林業振興課
3	福岡県 企画・地域振興部 総合政策課 エネルギー政策室
4	北九州市森林組合
5	京都森林組合
6	ホクザイ運輸株式会社
7	株式会社守恒造園建設
8	清水産業株式会社
9	九州電力株式会社
10	ダレスサンドロジャパン株式会社
11	テス・エンジニアリング株式会社
12	株式会社 伊万里木材市場
13	日鉄エンジニアリング株式会社
14	NPO 法人里山を考える会
15	北九州市 産業経済局 農林水産部 農林課
16	北九州市 環境局 環境国際経済部 地域エネルギー推進課